

しずおか学とは

静岡型小中一貫教育の特色である「しずおか学」とは、どのような学習なのでしょう。

しずおか学

地域や静岡市に愛着と誇りをもつ静岡市民を育てると共に、広く社会や世界に目を向けて、その発展に寄与する人材の育成を目指す郷土を舞台にした学習

ローカルとグローバルの視点をもった「グローバルな人材」の育成

①地域社会での静岡人として

- ・地域の活動に進んで参加し、地域の一員として貢献できる。
- ・地域を愛し、温かなかかわりができる。
- ・誰かを支え、誰かに支えられている自分を見出せる。



②日本での静岡人として

- ・ふるさとを離れても、静岡の「ひと・もの・こと」とつながり、静岡市の魅力や静岡人としての誇りを語れる。
- ・静岡市の歴史や文化に学び、人との絆を大切にし、新しい社会を作り出していける。



③世界での静岡人として

- ・ふるさとの自然や文化を愛し、世界に発信できる。
- ・世界の中の日本人・静岡人としての誇りをもち、多様な文化と共生しながら、自分の志を貫き、力を発揮できる。



Question

Q.「しずおか学」は新しい教科になるのですか。

A.新しい教科ではありません。総合的な学習の時間を中心とした各教科等で位置付ける学習として考えます。

Q.これまで行ってきた地域学習との違いは何ですか。

A.これまでも、各校において地域を題材とした学習が多く進められてきました。しずおか学では、それらの取組や各校で培ってきた地域とのつながりを大切にしながら、各グループで小中で一貫したカリキュラムを構想していきます。

3つの分類を組み合わせて、特色ある教育活動を実施します

①市として統一する内容(すべての学校で統一的に行う内容)

内容: 静岡市民としての基本を共通に学ぶ内容

地域素材を活用した学習
(生活科)



社会科副読本「しずおかだ いすき」, 「わがまち静岡」や地図による地域学習
(社会科)

「しずおか学-BOOK」によるマナーや礼儀等の学習
(特別の教科 道徳)



②学校が選択する内容(グループ校の状況に応じて選択的に行う内容)

内容: 静岡市の特色を学校で選択して学ぶ内容

お茶



静岡市が育んできたお茶づくりにふれ、お茶に愛着と誇りをもつ

しずまえ



駿河湾と共に生きてきた人々に出会い、しずまえ鮮魚の魅力を知る

オクシズ



山間地の魅力にふれ、静岡市の自然・伝統文化に誇りをもつ

海洋文化



海の営みを見つめ、そこで働く人に出会い、海の未来を考える

防災



災害からかけがえない命を守り抜く、自助・共助の意識を高める

歴史文化



静岡市の今を築いてきた人に出会い、ふるさとに誇りをもつ

③学校が独自に重点とする内容

内容: 地域の課題などを学校ごとに工夫して学ぶ内容
地域の企業の特色や知識・技能を活かした内容 等

地域の企業や人材と連携したキャリア教育

地域行事との関連を活かした地域学習

静岡市の各機関と連携した福祉学習や環境学習

外国語学習や外国人人材を活かした国際理解学習

地元企業と連携したプログラミング教育

これらはいくまで一例です。他にも、様々な取組が考えられます。

Question

Q. 選択内容は1つしか選んではいけないのですか。

A. 複数選ぶことができます。また、統一的内容や独自的内容と組み合わせることも考えられます。

Q. しずおか学の「副読本」とはどのようなものですか。

A. 選択内容の6つの分野について、小学校、中学校の両方で活用できる副読本です。分野ごとに冊子が分かれており、小5～中3を対象とした内容になっています。児童生徒用のPCを使用して、閲覧、活用ができるようになっています。